

# ライトリッツの給餌率表を用いたヤマメ稚魚の飼育試験

福島県内水面水産試験場 生産技術部

## 1 部門名

水産業－内水面（増養殖）－内水面養殖業

## 2 担当者名

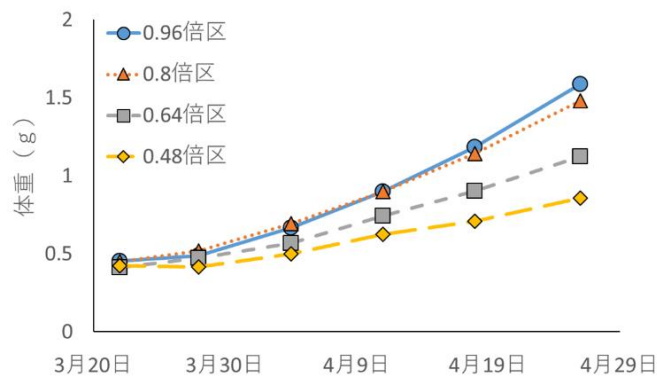
坂本 啓・遠藤雅宗・渡邊昌人

## 3 要旨

ニジマスの給餌量の目安であるライトリッツの給餌率表（以下、給餌率表）は、日本に導入されてから60年以上経過している。当時と比較して配合飼料が改良されている可能性と他魚種での効果を確認するため、ヤマメ0歳魚（平均体重0.40g）を供試魚として、制限給餌試験を実施した。その結果、149.5～164.6%と高い飼料効率を得られ、給餌率表は現在でも有効であることが確認された。

- (1) 15L水槽（0.5m×0.3m×0.1m）4つに30尾ずつ収容し、給餌率表の0.96倍、0.80倍、0.64倍、0.48倍を週5回手まきで給餌した。1週間ごとに30尾の総重量を測定し、給餌量を補正した。飼育用水は地下水（約11℃）で、約0.05L/秒で注水し、36日間飼育した。
- (2) 平均体重の推移（図1）、飼料効率（表1）から給餌量が多いほど成長が良いが、1日あたりの給餌回数が1.5～3倍になり、作業量が増加した。

表1 飼料効率



	試験開始時 平均体重 (g)	試験終了時 平均体重 (g)	飼料効率 (%)	1日あたりの 給餌回数
0.96倍区	0.45	1.58	149.5	3～6
0.80倍区	0.45	1.48	158.4	2～4
0.64倍区	0.41	1.12	164.6	2
0.48倍区	0.42	0.85	156.0	2

※ 生残率は100%

図1 平均体重の推移

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度  
 (2) 研究課題名 優良形質・高品質魚の作出と有用形質継代（継代魚管理）

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 令和3年度山梨県水産技術センター試験研究成果話題提供

※ 本研究は全国養鱒技術協議会養殖技術部会連絡試験の成果である。